

## パネル 2013年度せんだいメディアテークでの企画

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2015-05-30 キーワード (Ja): キーワード (En): Tohoku Gakuin University 作成者: 東北学院大学文化財レスキュー班 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/362">https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/362</a>

# 資料の洗浄と活動の記録

パネル編集：小野紘輝  
佐藤麻南  
高橋真結子

## ◎ クリーニング

東北学院大学でお預かりした資料は、牡鹿半島で収集された「石巻市鮎川収蔵庫」の民俗資料です。大学で保管しながら資料のクリーニングをおこなっており、現在は資料の燻蒸、脱塩の段階に入っています。

### ○ 一次洗浄

一次洗浄とは、資料の水洗いやブラッシングなどで汚れなどを落とすことです。作業の目的は資料の状態を安定させることです。資料は津波による泥やホコリで汚れていたり一部破損していたため、クリーニングは慎重におこなう必要がありました。

### ○ 二次洗浄

二次洗浄は、一次洗浄を行った資料をカルテや日誌をもとに管理し、状態を維持するための作業です。具体的には、追加でブラッシングをしたり、資料に付着したカビ・蛾の繭取りなど資料の状態に見合った清掃を行います。一次洗浄で大まかな汚れが落とされているため、一見成果が分かりにくいのですが、カビ塩害の再発や劣化の原因となる汚れを落とすためにとても重要な作業です。

### ○ 収蔵庫の環境と現在の状況

資料は現在も大学で保管されていますが、その数が膨大なため、収蔵庫の環境はあまり良いものとは言えません。そのためエアコンやサーキュレーターによる空調の管理や、二次洗浄までを終えた現在も定期的にクリーニングすることで、カビの再発・資料の劣化を防いでいます。

## ◎ 記録

わが国では大規模な災害が度々くり返されてきましたが、被災した文化財をどのようにレスキューしたかという記録はこれまでほとんど残されていませんでした。

### ○ 「活動日誌」と「カルテ」

私たちは日々の活動を「活動日誌」に記録し、資料状態の変化を「カルテ」に記録しています。これらの情報は現在、デジタル化したことで、より多くの人たちと共有できるようになりつつあります。

### ○ “記録”の意味

今後大規模な災害に見舞われた際、私たちが行っている文化財レスキュー活動の記録は、その対処の詳細な記録として重要な意味を持ちます。この活動それ自体が、地域の歴史や文化を背負う文化財をいかにして後世に伝えていくかについての新たな取り組みの記録だといえます。



大学でのブラッシング作業



作業内容を記録する様子